

令和8年第2回教育委員会定例会会議録

1. 開会日時及び場所

開会 令和8年2月16日（月）午後2時00分

場所 能勢町役場本館会議室（1）

2. 出席委員

教育長 辻 新造、職務代理者 阪東 なつ子、委員 市村 依子、

委員 中澤 安弘、委員 泉 孝英

3. 事務局職員出席者

教育次長 百々 孝之、学校教育総務課長 古畑 まき、学校教育総務課付学校指導

担当課長 木寺 明史、生涯学習課長 奥 成久、学校教育総務課教育総務担当係長

八木 みゆき

4. 傍聴者数 2名

5. 議事の次第

百々次長

<開会>

辻教育長

<挨拶>

皆さんこんにちは。

令和8年第2回定例会へのご出席ありがとうございます。

昨日、サクランボの木に掛けている網にツグミという冬鳥が引っかかっています、周りの枝や網を切るなどして放したのですが、自然に触れ能勢の自然の豊かさ尊さを感じたところです。

また本日は、能勢ささゆり学園の森林学習に講師として関わりました。子どもたちは林業士が間伐するところを見学し、倒した木の枝を使ってクラフトをしました。能勢の山が相当荒れてきていることや山に入り木を伐る人が減ってしまったことなどを聞く中で、子どもたちもいろいろと考え、将来山に関わる人材が出てくることを願っています。

本日の定例会、慎重審議どうぞよろしくお願いします。

それでは定例会を始めてまいります。

会議録署名委員の指名について、前回は中澤委員でした。今回は、阪東委員を指名します。

これから議案第3号「能勢町教育委員会所管に係る令和7年度3月補正予算について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

百々次長

議案第3号及び第4号については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、3月4日に開会される3月会議において提出される予定の議案のうち、教育に関する事務に係る部分について、教育委員会の意見を求めることとするものです。

本件につきましては令和7年度一般会計補正予算第7号に係るものです。

今回の補正につきましては、4ページの財政部局から示された基準に基づく減額補正です。

はじめに学校教育総務課関係です。1ページから2ページ目について、それぞれ歳出欄に記載のとおり、学校管理費において節単位で50万以上の不用額となるなど、減額基準に該当する見込みであることから、修繕費や委託料、使用料および賃借料などについて減額するもので、合計で11,085千円の減額となります。

1ページの修繕費につきましては、児童生徒用タブレットが令和7年10月に更新され修繕費が不要となるため減額補正するものです。

2ページのICT教育環境管理事業につきましては、校務用端末の保守契約の条件を見直したことにより、委託料に不用額が生じること、また児童生徒用端末の更新に伴い、利用するソフトウェアの運用を見直したことによりコンピュータソフト借上料に不用額が生じるため、減額補正をするものです。

歳入のGIGAスクール構想整備補助金につきましては、端末更新の入札先による不用額を減額するものです。

続いて3ページの生涯学習課関係です。負担金につきましては、実施母体の能勢町体育連盟の事業予算内で実施することから、負担金の支出が不要となったことに伴い510千円の減額を行うものです。

議案第3号についての説明は以上です。ご審議のうえ、お認めいただくようお願いいたします。

辻教育長

説明が終わりました。

これから質疑を行います。

ないようですので、これから採決を行います。

議案第3号は、原案のとおり承認してよろしいですか。

一同

異議なし。

辻教育長

異議がないようですので、議案第3号は、原案のとおり承認することに決定しました。

続いて議案第4号「能勢町教育委員会所管に係る令和8年度当初予算について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

百々次長

本件につきましても、先ほどの補正予算と同様、地教行法に定めるところにより令和8年度一般会計当初予算に係るものについて意見を求めるものです。

議案として添付をしています資料は、議会に提出する当初予算説明資料の教育委員会部分の抜粋です。これに基づきまして説明をします。

まず当初予算の概要については、1ページから2ページに示すとおりですが、主な項目について説明します。

はじめに学校教育総務課関係です。3ページの歳入につきましても、前年度比△5,340千円、△17.9%、24,472千円を計上しています。主な増減については、GIGA第2期における児童生徒用情報端末整備に係る補助金や高校魅力化支援事業費補助金の皆減、市町村学校給食費負担軽減交付金の皆増となっています。

4ページの歳出につきましても、前年度比△13,457千円、△5%の256,161千円を計上しています。

前年度と比較し、能勢地域学校連携・一貫教育事業、ICT教育環境管理事業、ICT教育環境整備事業により、大幅な減額となっています。

5ページの歳入、校内支援センター支援員補助金については、これまで校内教育支援員は、大阪府教育庁による雇用となっていました。国による制度化を受け、各教育委員会が会計年度任用職員として直接雇用することとなり、その人件費の3分の2を、国府から補助金を受けるものです。

続いて市町村学校給食費負担軽減交付金につきましても、令和8年度から実施される、いわゆる小学校の給食無償化に係る費用について、国2分の1、府2分の1の市町村学校給食費負担軽減交付金が交付されることとなります。国が定めている基準額と月数に前期課程児童数の見込みを乗じて交付金として計上しています。

続いて6ページの職員等学校給食費徴収金については、食材価格の高騰による増額です。

次に歳出に移ります。7ページの経常、事務局費です。

能勢町の教育の魅力を効果的に発信していくために、新たに委託料を計上しています。

続いて8ページ、能勢地域学校連携・一貫教育事業について、令和5年度から取り組んできた地域高2留学については、現状のままでは留学生受入の成立が難しいため募集を停止するものです。これに伴う関連経費の減となっています。

続いて11ページの英語教育推進事業については、事業内容の見直しを行います。GTECの検定対象を変更したほか、同世代の外国人とのコミュニケーションを通じて実践的な英語力を育成するため、新たに国際交流委託事業の導入を計画し

ています。

続いて12ページの学力課題に正対した学力向上支援事業を再構築しています。

能勢町の学力課題としては、知識技能の定着、低学年における学習習慣の定着が挙げられます。獲得から定着に係るプロセスの強化、学習の土台となる認知機能の強化の2本立てにより、子どもたちの学力向上をめざしていくこととしています。

続いて14ページ、ICT教育環境管理事業について、各種端末および機器に係る保守委託料の減となっています。

学校給食無償化事業で、歳入でご説明をしました給食費負担軽減交付金を活用し、基準額の超過分および後期課程の生徒分については、公費負担とし学校給食の無償化を継続するもので、地産地消の推進及び食材の高騰による増となっています。

続いて15ページのICT教育環境整備事業については、令和8年度は校務用端末の更新を予定しています。児童生徒用端末の更新を完了したことにより事業費が減となっています。

学校給食献立システム更新事業については、学校給食献立システムを更新することにより、献立作成や食材発注業務の効率化を図ろうとするものです。

続いて16ページの就学援助費については、令和7年度に繰越明許費として実施した物価高騰対策学用品費等支援事業の終了等に伴う増となっています。

続いて生涯学習課です。17ページの歳入につきましては、前年度比1,990千円の増、234.1%増の2,840千円を計上しています。

18ページの歳出については、前年度比24,477千円、54.3%の増の69,521千円を計上しています。新生涯学習施設整備事業、けやき資料館施設整備事業、B&G海洋センター整備事業などにより大幅な増予算となっています。

20ページの新生涯学習施設整備事業について、前年度債務負担行為として計上し、実施をしている基本構想および基本計画の策定委託料の増となっています。

21ページの能勢芸術文化祭事業については、世代間の幅広い交流を図るため、地元高校生の参画に引き続き取り組んでいきたいと思えます。組織改正に伴う室使用料の増となっています。

22ページの天然記念物診断・保全対策事業については、野間の大けやきの保護増殖に係る根系調査業務に伴う増となっています。

けやき資料館施設整備事業については、事務所のエアコン及びモニユメントの修繕を実施するものです。

続いて23ページの生涯学習センター運営管理事業です。図書システムの改修業務終了に伴う減となっていますが、令和8年度は、フリーWi-Fiを設置し、図書室での学習支援の向上を行っていくこととしています。

続いて24ページ、B&G海洋センター整備事業については、受電設備の劣化が著しいため、高圧受電設備機器更新工事を実施し、施設の安定した運営を図ろうとす

るものです。

大変雑ばくな説明となりましたが、議案第4号の説明については以上です。
ご審議のうえ、お認めいただきますようお願いいたします。

辻教育長

説明が終わりました。
これから質疑を行います。

中澤委員

7ページの歳出、教育総務費事務局費の主な歳出に記載のあるデザイン作成委託料について、どのようなものか教えてください。

古畑課長

先ほど次長から説明があったように、令和8年度能勢町の教育の魅力を効果的に発信する取組みを新しく始めようとするもので、SNSや教育に特化したホームページ、ランディングページを作成していこうと考えており、そのページ作成に係る委託料です。

阪東委員

当初予算概要のところで、「新たに「教育の魅力発信」に係る予算を計上しました。」とありますが、今言われたほかにも計上されているのものはありますか。

古畑課長

予算で言いますと今説明しましたデザイン作成委託料です。ターゲットを絞って発信していきたいと考えています。

阪東委員

11ページの事業内容のところで、「英語検定実施学年の見直し」について、どのようなことか具体的に教えてください。

木寺課長

GTECについては、7年度は、5・6・7・8・9年生で実施してきましたが、8年度は9年生のみの実施としたいと考えています。これまでは、検定というゴールをめざして学力を上げていこうとしてきましたが、検定までのプロセスに力を入れていこうということで見直しをするものです。

阪東委員

プロセスを大事にするということはわかりました。4年生までは漢字検定があって、今までは5年生から英語検定がありましたが、それに代わる試験などを取り入れる予定はありますか。

木寺課長

今のところはありません。

阪東委員

保護者的な意見としては、漢字検定を5・6年生まであってもいいのかなと思います。漢字検定が4年生で終わってしまうのはもったいないと思います。漢字は重要だと思うので、予算をまわせるのであればそれもいいのかなと思います。

木寺課長	漢字検定は、合格率が8割ほどととても高い結果が出ていますが、全国学力テストでは基礎読解力が全国のところで大きな差となっていて、方向性をそのプロセスに力を入れていこうと考えているところです。
辻教育長	これまで検定に対して公的な支出をしてきているところですが、それも形をかえながらやってきています。この10年を振り返った中でプロセスに力を入れるということは、日々日常の取組みに、と発想を変えていくということで新しく組み換えていくものです。具体的な内容については、今後説明をしていきます。
中澤委員	16ページ義務教育学校費の就学援助費について、先ほど説明がありましたが、倍ほどの予算額になっています。もう少し詳しく説明をお願いします。
古畑課長	主な増減理由に「物価高騰対策学用品費等支援事業の実施終了に伴う増」とあります。令和7年度については、国の物価高騰対策交付金を活用し、能勢ささゆり学園の児童生徒に対し、学用品費として、1人当たり1年間10,000円を支給していましたが、この事業が7年度限りで終了しましたので、この就学援助費は元に戻ったということです。
泉委員	12、13ページの財源内訳に「その他」とありますが、内容について伺います。
古畑課長	財源内訳の「その他」については、予算の項目では「その他収入」となっており、詳細な説明については、予算書の中では表れてこないことから、その他収入としています。 12ページの学力向上支援事業についてのその他収入は、この事業でアフタースクールを実施しており、その受講料です。 また、13ページの経常学校管理費のその他収入については、スクールバスを校外学習などで使用する場合があります、遠足などは一部保護者負担となっているものがありますので、その収入分となっています。
市村委員	13ページ、事業概要中のキュービクル設備とはどのようなものですか。
古畑課長	キュービクルは、電気を変圧するもので、高圧で来る電気を施設内に入れる際に圧力を変える設備です。5年契約で設備の保守を委託しているもので、令和7年度で5年が経過しますので、今回5年分を計上するものです。
市村委員	4ページと8ページとで数字が違うところがあります。能勢地域学校連携・一貫教育事業の本年度予算及び比較増減額が違っているかと思います。

古畑課長 訂正しきれておらず申し訳ありません。4ページの数字が正しい数字です。
この事業内で予算計上している旅費について、費用弁償の規則改正があり、増額2千円として最終予算計上したものです。

市村委員 9ページ、人事権移譲業務の概要目的のところの「地域に根ざす意識を持った教職員を獲得する」とありますが、具体的にどのようなかたちで考えているか教えてください。

古畑課長 教職員採用について記載している項目です。豊能地区においては大阪府から人事権を移譲されていますので、3市2町で独自に採用試験を行っています。豊能地区で先生になりたい、豊能地区の子どもたちと接していきたいという人材を採用し育成していきたいというところで記載しています。

辻教育長 ほかに質疑はありませんか。
ないようですので、これから採決を行います。
議案第4号は、原案のとおり承認してよろしいですか。

一同 異議なし。

辻教育長 異議がないようですので、議案第4号は、原案のとおり承認することに決定しました。

続きまして「令和8年第1回定例会会議録」の承認を行います。
何か意見などはありませんか。

ないようですので、「令和8年第1回定例会会議録」については、修正のうえ承認してよろしいですか。

一同 異議なし。

辻教育長 異議がないようですので、「令和8年第1回定例会会議録」は、承認することに決定しました。

次に、「教育長報告」をします。
2月6日（金）臨時会を開催し出席しました。
2月10日（火）令和8年度新採教職員オリエンテーションに出席しました。
2月12日（木）校長・副校長会に出席しました。

2月13日（金）大阪府町村教育長会に出席しました。

2月16日（月）本日、能勢ささゆり学園の森林学習に講師として出席し、また定例会を開催し出席しています。

2月18日（水）教頭会に出席します。

2月19日（木）竹本井筒太夫稽古上げに出席します。

2月20日（金）市町村教育委員会教育長・学校教育指導主管部課長会議に出席します。

2月25日（水）豊能地区教職員人事協議会に出席します。

2月27日（金）能勢分校卒業証書授与式に出席します。

その他、事務局より何かありますか。

百々次長

後援名義の使用許可について、説明させていただきます。

※配付資料により説明。

・能勢妙見山ブナ守の会

「妙見山ブナ林 再生プロジェクト「防鹿柵設置体験会」

令和8年2月5日許可

木寺課長

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（能勢町の結果概要について）ご説明します。

※配付資料により説明。

奥課長

生涯学習課から報告します。

・新生涯学習センターワークショップのせのセッションについて

市村委員

たくさんの方が参加されており、どのグループも良い雰囲気でも盛り上がっていました。発表の仕方も工夫をされていてよかったですと思います。

辻教育長

1月31日に能勢ささゆり学園から「おおさか子どもEKIDEN」に参加されたことを報告できておりませんでしたのでお知らせします。子どもたちまた保護者の方もたくさん参加されており、記録も昨年度より伸びました。

何かやってみるといことは大切であると、井の中の蛙にならず経験を積んでチャレンジしてほしいと思います。

ほかに何かありますか。

ないようですので、次回定例会の日程調整を行います。

令和8年第3回定例会を3月13日（金）午後2時からとしておりましたがよろ

しいでしょうか。

一同

異議なし。

辻教育長

令和8年第3回定例会を3月13日（金）午後2時からと決定します。
続きまして、令和8年第2回臨時会の日程について調整をお願いします。

百々次長

第2回臨時会については、3月26日（木）午後1時からを提案します。同日総合
教育会議が予定されていますので同日に開催したいと考えています。

辻教育長

いかがでしょうか。

一同

異議なし。

辻教育長

確認します。第3回定例会を3月13日（金）午後2時から、また第2回臨時会は、
3月26日（木）午後1時からとします。

ほかにありませんか。

ないようですので、これで本日の定例会を終了いたします。

（閉会 午後2時57分）